

『納豆菌の力』

凄い記事
掲載されました！！



株式会社 エーピー・コーポレーション

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里6-13-13
TEL.03-5692-0251 FAX.03-5692-0252
http://ponpa-ap.com

タマネギ

玉太り良く

水稲

増収

土壌微生物活性剤 エーピーコーポレーション

土壌微生物活性剤「納豆菌の力」を製造・販売するエーピーコーポレーションは、3月に北海道事務所を開設し、道内での販売を強化する。販売は、井関農機のグループ会社で農機を製造・販売するキセキ北海道と連携。国内最大の農業地帯で一気に普及する考えだ。水稲、タマネギなど主要品目で増収などの効果を実感する農家に評価を聞いた。



▼写真上「今年自分合った使い方を見つけた」と意欲的な佐藤さん（北海道南幌町で）
▼同左ドローン（小型無人飛行機）の撮影動画で作物の生育を確かめる池田さん（北海道中富良野町で）



ブランド米比率も向上

JANAなんぼる南幌町野菜（そさい）園芸組合玉ねぎ部会長の佐藤大輔さん（42）は、タマネギで2017年の定植後に「納豆菌の力」を散布した。「約30%に育った段階で、5%も生育に差があつて驚いた」と、生育促進の効果を実感した。

5月中旬に生育差を確認し、増収に期待したが、べと病が発生。増収効果は見られなかったが、病害の出なかった未散布圃場（ほじょう）と同じ10%当たり6.6%増収を収穫。玉太りが良くL大と2L中心で、未散布圃場に比べ一サイズ近く大きかった。今年、1回散布と2回散布を試す計画だ。

納豆菌の力

納豆菌（バシラス 属菌）をおよそ10種類混合した資材。水稲、野菜などで作物の根張りを良くし、増収や連作障害防止の効果

が期待できる。仮設トイレのふん尿処理剤として微生物に着目して開発し、10年3月農業用「ドクターバシラス」として発売した。15年に「納豆菌の力」に改名し、普及が

22%で水稲、大豆、麦、タマネギを作る。4・8%で栽培するタマネギは収益の柱として、土壌微生物資材で土づくりを重視する佐藤さん。農機展示会で「納豆菌の力」を購入。光合成

が進んだ。普及面積は全国で1万畝に迫る。都道府県別では茨城県が2290畝、北海道1425畝、埼玉県840畝、ニンジン、麦、ダイコン、ブロッコリー、メロン、イチゴ、ネギなどで広く使われている。キセキ北海道は、成形ポット田植機や各種の野菜移植機を販売する。良質苗が円滑な移植に欠かせないため、根巻きを良くする効果に着目。同社は「苗作りを

補完する資材としてスタートした。社員が苗作りを学習するきっかけにもした」と話す。数年に一度売れる農機と違い、毎年購入してもらえる商品として顧客との継続性にも期待している。

液体タイプの価格は500円（税別）、5%が3万6000円（同）。問い合わせはエーピーコーポレーション、電話03（5692）0255。

%、17年は17%の増収だった。水稲でも効果を感じた農家がいる。岩見沢市の水島義人さん（51）は「ゆめび

りか」「ななつぼし」で11畝分のポット苗に移植前散布した。16年までの収量は10万5400〜57000kgだったが、17年は「660kg以上あった」という。JAブランド米になるタンパク質含量6・8%以下の基準を満たした年は、1、2回だったが、17年はほとんどが基準を満たした。

「基数が多く茎が硬く、45度ぐらい傾いても刈れた。止め葉が遅くまで青かった。樹体が元気で養分を吸収でき、増収したようだ」と分析する。

水稲用種子を生産する中富良野町の池田元己さん（50）も17年、「ななつぼし」に散布。移植後の活着を促すため、成苗ポット苗の根巻きに期待した。結果は「太い根がぐるぐる巻いて良い苗だった」という。

収量は、水田の大区画化工事で、土壌を移動させたことから、倒伏しないよう施肥量を抑えたため、総収量は例年を下回り、「納豆菌の力」の増収効果は確認できなかった。